

昭和47年 8 月 5 日

特許庁長官

特許請求の範囲に記載された発明の数

特許出職人と同じ

氏

特許出願人

代 理 人

2. 告許 請求の範囲

実底でのフレーム;フ 各側に個着されそして各々がフレームに関して拡 げられた仪量と引込められた位置との間を可動の 支持プラケットを担持する折たりみ自在の異 レームの重心が車輪の輪輪の前方に位置 下幕が安定のためた地間に坐着するように の外側で一方の脚構造体に支持され、そして選

②特願昭 47-77331 ①特開昭 48-24833 ④ 公開昭48.(1973) 3.31 (全10頁)

審査請求

19 日本国特許庁

公開特許公報

庁内整理番号

60日本分類

6449 25

120 G522.92

の実成ぐな支持体ならびに支持体の中 質に付款されて各々が回転自在の車輪 する解析流体を包含するフレーム;支持体 部分から延びる軸を包含しそして選業車の のために軸の軸幕に対して復新方向に配置さ れた舞りを備えた宋龍部分を有するヘンドル;支 特体に使けたコルフパッグ保持手段;フレームに を厭動するために連絡された電動機;電動機と悶 略をなしてフレームに取付けられた電池手段;裏 推及び(または)人差担による操作のために個 b 及び劇剣手段を接続する記載;ならびに、ゴルフ 目を複方向で一方の促または他方の様に位置 反するように取付ける手段より成る動力駆動